

生の声を知る!

DATEntre みんなの声

留学生採用予定企業の声



株式会社福田商会
ホテル事業部
(ANA ホリデー・イン仙台)

留学生を受入れると言う事で不安要素は多くありましたが、実際は日本人採用と変わりなく、日本語でのコミュニケーションは取れる為、社内での受けこみも早く、良い形で社内の雰囲気が変わったと感じます。

業務上では、漢字が読めない事(特にお客様の氏名など)で多少滞る場面もありますが、これは既存スタッフのサポート次第だと感じております。

一方、海外ゲストへの対応に関しては数段レベルが上がったと実感している他、当該者が仕事に取組む姿勢や勤怠性は既存スタッフも見習う面もあります。同時に指導する側も業務一つひとつを噛み砕いて説明する事で、その意義を再認識する機会となり総合的な業務向上へつながっており、留学生受入れて得たものは大きいと感じております。

インターンシップ受け入れ企業の声

外国人留学生は日本人とは異なる習慣や価値観があることを私たちに教えてくれる存在でもあり、海外の文化や外国人ならではの発想を取り込むことで、社内組織の活性化、更なるグローバル化を推進していくことができたと感じます。近い将来に海外展開の想定等もできました。

また日本国内の人口減少による新卒者の採用難の時代にとって優秀で二か国以上の言語を話せる高度人材の外国人採用のチャンスが出来たことに感謝しています。積極的にアジア、東南アジア人材の採用をしていきたいと思っています。



アンデックス株式会社
ソフトウェア開発・コンテンツ開発

DATEntre受講生の声



張志林
東北大学
経済学研究科修士2年

1期生としてDATEntreに参加し、ビジネス日本語をはじめ、就職支援講座やインターンシップ等、様々なプログラムを受講しました。日本語能力だけでなく、インターンシップを通じて実際の企業の方々と交流することで企業研究にも大いに役立ちました。インターンシップは事前事後指導のおかげでより有意義なものになりました。

また、エントリーシートの書き方や面接練習に早くから取り組み、手厚いサポートがあったことも就職活動を順調に進められた要因だと思います。その結果、無事に第一志望の企業から内定をいただきました。

今後はプログラムを通じ、企業に入っても必要な力を身に付けたいと思います。

議長からのあいさつ



東北イノベーション人材育成コンソーシアム
運営会議議長
秋田次郎

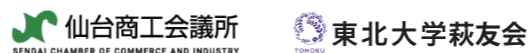
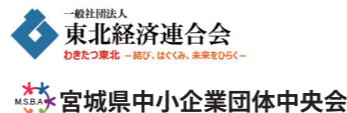
東北イノベーション人材育成プログラムへようこそ。

このプログラムは、日本でのキャリア形成に関心を持つ留学生の日本語能力、日本の文化への理解、日本社会の就職慣習への理解を高め、東北地方や日本の企業への就職へ結びつけることを目的としています。具体的には、ビジネス日本語、課題解決型プロジェクト(PBL)、インターンシップ、共修授業などを受講しながら、日本での就職に必要な能力を伸ばします。留学生の多様なキャリア志向に合わせ、三つのキャリア育成コースを設定し、日本人学生との共修やペア・インターンシップを実施したり、独自のメンター制度を活用するなど、ほかにはないユニークな留学生就職促進プログラムとなっています。

またこのプログラムは、宮城・仙台の四大学、二地方自治体、三経済団体および東北大学同窓会から構成される地域密着型の産学官連携コンソーシアムによって実施されます。域内の個別組織が単独で実施するのとは異なり、地域の産学官が互いに連携してスクラムを組み、留学生にとって良好な就職環境を提供するとともに、グローバル化が喫緊の課題となっている地域経済にとっても大きな役割を果たすものと確信しています。

このプログラムを活用して、ひとりでも多くの留学生が、新たなキャリアを開拓することを期待しております。

東北イノベーション人材育成コンソーシアム参画機関



問い合わせ先

東北イノベーション人材育成コンソーシアム事務局(DATEntre)
(東北大学高度教養教育・学生支援機構キャリア支援センター内)

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 番地
[TEL]022-795-4994・4995
[Email]datentre@grp.tohoku.ac.jp
[HP]https://datentre.ihe.tohoku.ac.jp/



東北イノベーション人材育成コンソーシアム

日本で、宮城で働きたい
留学生をサポートしよう



KESENNUMA

OSAKI

ISHINOMAKI

SENDAI

SHIROISHI

文部科学省
留学生就職
促進プログラム

DATEntre

DATEntre

東北イノベーション人材育成プログラム

Tohoku Innovation Human Resources Development Program

1. DATEntreプログラムとは

日本での就職を希望する留学生を対象とし、地域に根付いた産学官のコンソーシアムを通じ、これからの日本経済の発展をけん引する、即戦力人材の育成を目指すプログラムです。

①「日本語・キャリア教育」科目

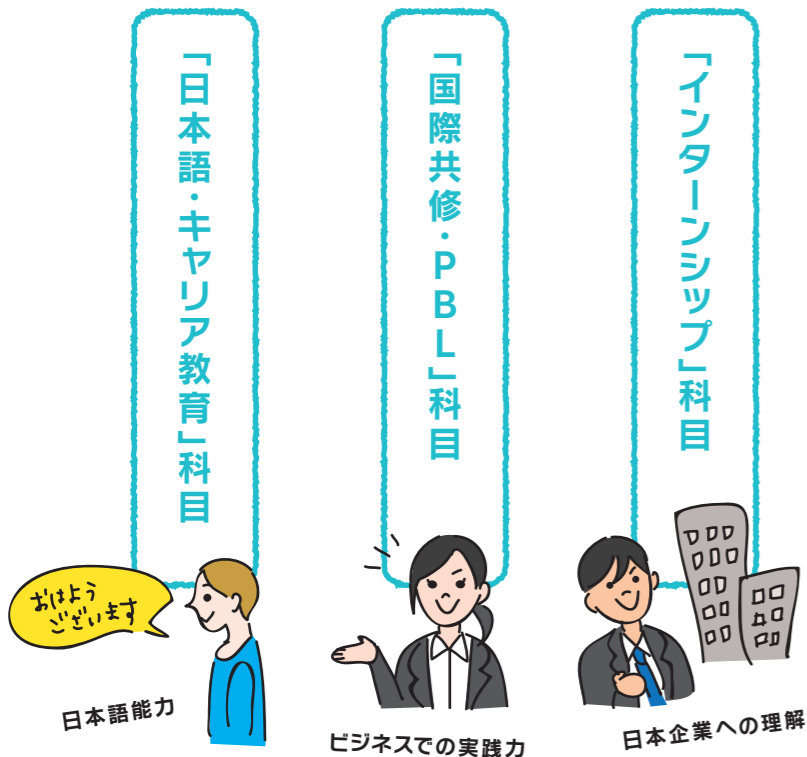
ビジネスレベルの日本語の習得、日本の企業文化・組織文化への理解を深め、日本企業での就職活動に備えます。

②「国際共修・PBL」科目

企業の抱える課題について、ワーク等を通じて日本人学生と共に課題解決に取り組むことで、お互いの異なる考え方・価値観を学びます。

③「インターンシップ」科目

ビジネスマナーや目標設定等、事前指導をしっかりと行った後、企業での就労体験、事後の振り返りを通じ、日本で働くことやライフキャリアについて理解を深めていきます。



- ・日本文化、日本企業の文化への理解が深く、日本での就職を目指している学生
- ・母国語に加え、日本語でのコミュニケーションが可能な学生

2. インターンシップとは

「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」

(文部科学省・厚生労働省・経済産業省「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」平成9年9月18日策定、平成26年4月8日一部改正)

インターンシップ受入れのメリット

新規事業創出のヒントになる

異なる価値観・視点を持つ留学生からの提案は新しいビジネスの可能性が広がるチャンスです。海外進出をご検討中の企業の皆様には海外の事情を知る絶好の機会です。



若手社員の人材育成に活用

インターンシップ学生への指導を通じ、先輩ができた際にどのように業務や仕事の魅力を伝えるのか。リーダーとなる若手社員のための教育にも効果的です。また、自分の仕事を今一度振り返ることは、仕事へのモチベーションを高めるうえでも効果大です。



自社の認知度を高め、今の学生を知ることができる

学生は企業について多くの知識を持っているわけではありません。インターンシップを通じ、学生に自社の魅力を伝え、認知度を高めると共に、イマドキの学生の実態を知るきっかけとしましょう。



【外国人留学生の採用をご検討中の企業皆さま】

法務省では参画企業が本プログラムを受講した留学生を採用した場合、在留資格変更手続きにおける優遇措置を計画しています。

就職活動スケジュール

大学3年生・大学院1年生

大学4年生・大学院2年生

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
									● 広報活動解禁			● 選考活動開始							● 内定解禁 ● 在留資格変更手続き
● インターンシップ受け入れ企業募集		● インターンシップ実習受入れ			● インターンシップ受け入れ企業募集		● 冬のインターンシップ合同説明会		● ジョブフェア			● インターンシップ受け入れ企業募集							
	● 夏のインターンシップ合同説明会 ● プログラム作成講習会							● ジョブフェア参加企業募集				● プログラム作成講習会		● インターンシップ実習受入れ					

●…通常スケジュール ●…DATEntre スケジュール

3. インターンシップを受入れるには

夏季インターンシップ

学生の夏季休暇期間(8月上旬～9月下旬)での受入れをご検討ください。受入れ日数やプログラム内容についてはご相談ください。学生にとって企業様を知るはじめての一步となります。

冬季インターンシップ

学生の冬季休暇期間(2月上旬～3月下旬)での受入れをご検討ください。業界の魅力・自社の魅力を伝える有効なプログラムとなるよう、受入れ日数やプログラム内容についてはご相談ください。

受入れ時の注意点

- ⚠ インターンシップはアルバイトではありません。取り組む業務の位置づけや教育的効果をご配慮ください。
- ⚠ 実習は1日8時間以内でお願いします。
- ⚠ 日本の企業について知るためにも昼食時など、社員の方と話せる時間を設けてください。

[インターンシップ3つのあんしんサポートプログラム]

①プログラム作成講習会

インターンシップの受入れを始めるに際してプログラム作成や受入れの体制づくりといったインターンシップのはじめの一步を一緒に作っていきます。

②各種説明会・交流会の開催

DATEntre 開催の説明会や交流会へ優先的に声がけさせていただきます。

③情報提供機会の創出

コンソーシアム参加校の学生に対し、様々な企業情報を届けることができます。貴社の事業内容を知ってもらうチャンスです。

※インターンシップを始めるに際しての不安や疑問、こんな時はどうしたらよいのか?といった点についてもお気軽にご相談ください。